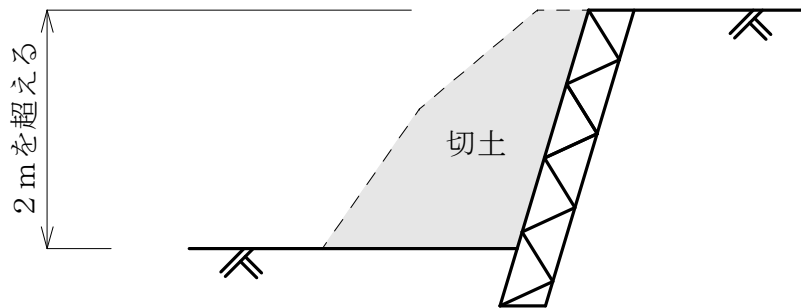


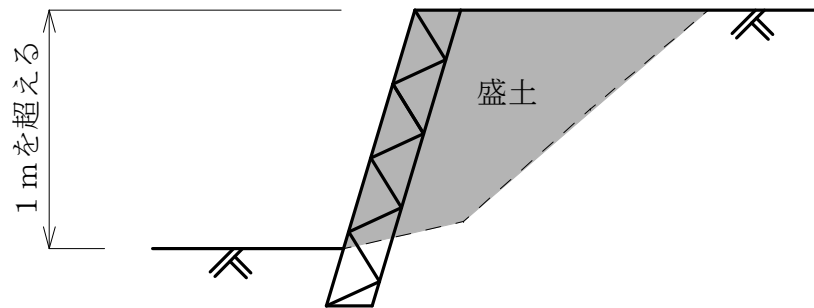
# 宅地造成等規制法の許可を要する工事

※形質の変更（宅地造成等規制法施行令第3条）

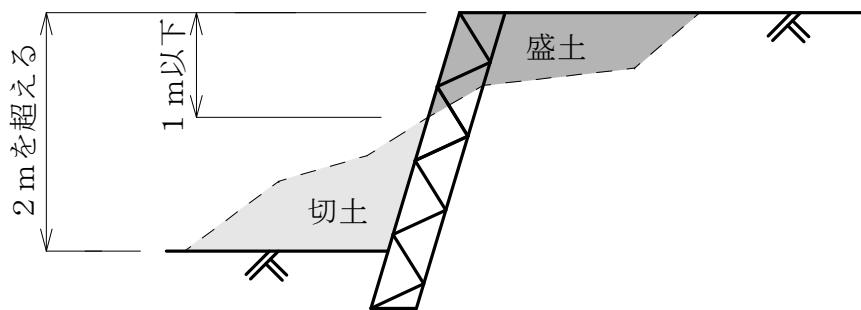
(1) 切土の場合で、その部分に高さが2 mを超えるがけが生じるもの



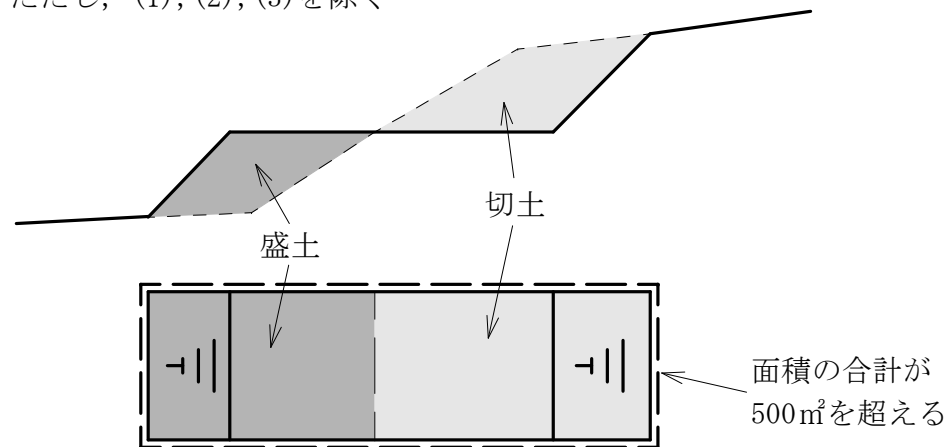
(2) 盛土の場合で、その部分に高さが1 mを超えるがけが生じるもの



(3) 切土と盛土を同時にする場合で、盛土の部分に1 m以下のがけが生じ、かつ、切土と盛土をした部分に高さが2 mを超えるがけが生じるもの



(4) 切土または盛土をする土地の面積の合計が500㎡を超えるもの  
ただし、(1)、(2)、(3)を除く



※「がけ」とは、地表面が水平面に対して30度を超える角度をなす土地（硬岩盤を除く）をいいます。擁壁の設置の有無は関係ありません。

※宅地造成工事規制区域内において、上記のいずれかに該当する造成工事を行う場合は、宅地造成等規制法の許可が必要となります。

※宅地造成に関する工事の許可の要否については、事前相談書に必要な書類を添えて事前相談をお願いします。

※事前相談または許可申請の各種手続きに際しては「宅地造成許可申請の手引き」を参照してください。